



熊本市PTA協議会
 会長 森 徳和
 編集責任者 後藤 英雄
 発行所 熊本市PTA協議会
 熊本市草葉町5-1
 TEL(356)1122
 FAX(351)2309
 印刷：太陽社

熊本市PTA研究大会開催

「食と心と環境」で命を考える

平成十九年十一月二十四日、熊本保健科学大学で熊本市PTA研究大会が開催され、六百四十名の会員が参加した。

開会行事で、来賓の小牧幸治熊本市教育長は、「子どもを取り巻く環境は、多様に変化し複雑化している。国民の教育問題に対する関心は高く、学校への期待と地域や家庭教育のあり方が注目されて

いる。今日の研究大会での成果に大いに期待している。」と祝辞を述べられた。

熊本県PTA連合会の曾我邦彦会長は、「それぞれが研究し、努力し、掴んだ実績をみんなで見ることができることによって、解決できない問題であっても解決へのヒントになると思う。他の単位PTAとも手を携えて子どもたちの環境を守っていく必要がある。地域を越えて協力しなければ、問題解決が出来ない時代になっていることを認識していただきたい。」と祝辞のなかで述べられた。



『食と心と環境』で命を考える。人と生き合う子に育てるために、というテーマの基調講演で臨床心理士の岡崎光洋先生は、子育ては、根本的に子どもを肯定することであり、可愛いからこそ毅然とした親の姿勢が



必要であると話された。さらに食や食卓の風景からは、子どもとの関わり方に関して親の姿勢が見えてくるなど大変参考になるお話をいただいた。

分科会では、退職校長会の中村貞夫先生、金井賢一郎先生を講師にお話を伺った。それぞれの貴重なお話に参加者は、今後の子育てに生かすことの出来るヒントを得ることができた。

またこの研究大会の開催にあたっては、市PTA協議会教養委員会の渡辺委員長を中心に綿密に準備がなされた。

当日も早朝より教養委員会、常任理事会のメンバーらで会場設営、大会運営、夕方までにわたる後片付けなど目立たないところでたくさんの人たちの頑張りが大会を支えていた。

(飽田南小 後藤英雄)



子どもたちへ伝えたいこと

市P副会長 吉田 佳樹

外国で、その国の歴史、文化、人々の生活に触れ、面白いと感じ、かつ敬い、つつも、帰国した際に沸きあがる私の素直な感情は「この国に生まれて良かった」という事です。独自の文化と長い歴史に育まれ、安全、便利で自由な生活を私達は「あたりまえ」に享受できます。しかし、それは他国と比較するまでもなく決してカンタンに得られるものではないかもしれません。であれば、その事の素晴らしさを取り組むべきです。

しかし注意すべきは問題点のみをクローズアップし、将来や未来社会を悲観的に描き過ぎる事です。現状の良い点を認め、肯定的に評価する事は「感謝する心」を育てます。感謝どころか、批判や悲観的な評価ばかりでは、そこに誇り、誇りから生まれる自信、自信から芽生える未来への希望も小さなものとなってしまいます。「この国に生まれて良かった」として「このまちで育ち本当に良かった」子どもたちが素直にそう思える様、そう思える「何か」を伝える事こそ私たち保護者、教師の責務ではないでしょうか。

(古町小 会長)

食生活を研究していた学者が、一枚の絵の前にして考え込みました。その絵は、小学校四年生の男の子が書いた絵で、目も口もない自分が一人で食卓に座っています。

「チフリーズのもとに、子どもたちとキッチンで朝ご飯を取らせる取り組みが全国的に行われています。本日は、『食と心と環境』で命を考える」というテーマで、岡崎光洋先生の講演のほか、二つの分科会を予定しています。研修を通じて、新しい何かを発見して下さい。最も大切なことは、身近なところから実践するという事です。子ども一人だけの食事をさせず、家族とともに食事をすると、これは立派な取り組みです。学校や行政を頼りにするのはなく、自分の家庭から第一歩を踏み出すことが大切です。

食からみえること

市P研究大会 会長挨拶より
 熊本市PTA協議会会長 森 徳和

男の子の前には、ゆうべの残りのカレーと麦茶。テレビは、「校長先生が自殺」というニュースを伝えていきます。学者が実施したアンケートに対して、その男の子は、「一人の朝ご飯は「静かでもいい」と答えました。時々食べないのはという問いには「忘

した。事態の深刻さを悟った学者は、子どもが一人で食事をすると「孤食」問題を社会に訴えました。NHKテレビでも取り上げられ、大きな反響を産みました。その後、「食育」への関心が高まり、「早寝、早起き、朝ご飯」というキャッ

この研究大会が、皆さんにとって実り多きものになることを願っています。

基調講演

「食と心と環境」で命を考える

岡崎光洋先生



「早寝・早起き・朝ごはん」を学校教育の中で指導している所もあるが、これは全て家庭内の生活習慣のことであり家庭内で教えていくべきことである。

つもの「心」が懸念される。「父」「母」の文字自体に食の意味がある。「父」は斧を表し外で戦う力を与え、「母」は乳房を表し子どもを肯定して受け入れることである。これは性差ではなく父性と母性の関わり方のことであり、このバランスが取れていれば子どもの心理的なバランスも取れるのである。

第一分科会 「心」愛と感動のメッセージ

熊本市退職校長会会長 中村貞夫先生



とどめず、このメッセージを教育の原点として捉えてほしいと思います。また、詩人の江口いとは「人の値打ち」という詩の中で人の値打ちは「着ている着物」、「肩書き」、「学歴」、「生まれ所」でどうやら決められていると決まっています。

がありました。どんなすどい刃物より私の胸を刺しました。友達のお誕生会に参加することを許されなかった孫の踏みこじられたその思いを考えると、差別に対する抑えることの出来ない激しい怒りを感じると述べておられます。

熊本市PTA 研究大会を終えて

教養委員長 渡辺 正宏

この度は熊本市PTA研究大会に多数ご参加いただき誠にありがとうございました。右も左もわからぬまま委員長を仰せつかり、充分な運営・進行ができませんでした。事務局長をはじめ委員の皆様のご協力のもと無事終えることができました。

今回の基調講演は、現在熊大医学部の非常勤講師や県のスクールカウンセラー、教育相談専門委員等、多方面でご活躍中の岡崎光洋先生を講師にお迎えして行われた。

【あ】：甘い。甘やかす。嫌いが激しい人は、人の好き嫌いが多く、自己中心的な人が多い。肥満は甘やかすからくるもので、残すときに「こめんなさい」と言える子に育てるべきである。

【た】：他者と生き合っている感覚を食を通じて教える。学校では、稲や野菜を作ることを追う授業はあるが、残飯がどうなっているかを追う授業もやってもらいたい。

大阪教育大学付属池田小学校で児童八人の命を奪った惨劇は皆さんも記憶に残っていると思います。その被害者の親御さんが「八人の天使が教えてくれた、笑顔のすばらしさと命の尊さを未来に伝えてください。」とおっしゃったそうです。これを悲惨な事件との認識に

同じく江口いとさんは「招かれなかったお誕生会」という詩で、「孫はあのねおばあちゃんA子ちゃんとても優しいの私の大事なお友達A子ちゃん悪くはないのよ。お母さんが悪いのよ。大人ってみんな我ままよ。寂しく言った孫の瞳に光る涙

決めて使わせるのも親の責任です。フィルタリングの機能を有効に活用し、無規則、無原則の携帯電話の使用を認めては、いけません。

この度は熊本市PTA研究大会に多数ご参加いただき誠にありがとうございました。右も左もわからぬまま委員長を仰せつかり、充分な運営・進行ができませんでした。事務局長をはじめ委員の皆様のご協力のもと無事終えることができました。

日本では家族間での殺し合いのニュースが飛び交い、家族の中に「否定的」が漂っている。子育てとは根本的には子どもを「肯定」することであり、かわいからこそダメな事はダメだと教えていくことが大切である。家庭の中で基本的な挨拶が飛び交い、親子間でささやかな会話と笑顔があるのが平和な家庭である。

【い】：いい加減。いい加減な食べ方をしている子が増えている。いろいろな他者と生き合っていることを認識させ、「いただきます」「ごちそうさま」を素直に言える子に育てること。子どもは親の背中を見て育つのでなく、親のようには親の背中を見て育つ子どもにさせたくないことは大人もしたいこと、子どもにさせたいことは大人が黙って続けることである。

【お】：おじいちゃん、おばあちゃんの間わりもそこそこにして欲しい。我慢させることも伝えなければ、後で困るのは子どもである。

「子どもたちを取り巻く環境」子どもに必要なもの、見きわめよう。退職校長会 金井賢一郎先生

の多いサイトへのアクセスなど携帯電話に関するトラブルが多くなっています。携帯電話は、大変便利な品物であり児童生徒もかなりの割合で持っており、徳島県の例では小学生二十五%、中学生六十一%、高校生の九十六%が持っているというデータがあります。

子どもたちを取り巻く環境は多様化しています。さまざまな情報や便利な品物が溢れる中、子どもに本当に必要なものや、ものの本質を親が見極めることが重要です。

この度は熊本市PTA研究大会に多数ご参加いただき誠にありがとうございました。右も左もわからぬまま委員長を仰せつかり、充分な運営・進行ができませんでした。事務局長をはじめ委員の皆様のご協力のもと無事終えることができました。

「早寝・早起き・朝ごはん」を学校教育の中で指導している所もあるが、これは全て家庭内の生活習慣のことであり家庭内で教えていくべきことである。

【あ】：甘い。甘やかす。嫌いが激しい人は、人の好き嫌いが多く、自己中心的な人が多い。肥満は甘やかすからくるもので、残すときに「こめんなさい」と言える子に育てるべきである。

【た】：他者と生き合っている感覚を食を通じて教える。学校では、稲や野菜を作ることを追う授業はあるが、残飯がどうなっているかを追う授業もやってもらいたい。

大阪教育大学付属池田小学校で児童八人の命を奪った惨劇は皆さんも記憶に残っていると思います。その被害者の親御さんが「八人の天使が教えてくれた、笑顔のすばらしさと命の尊さを未来に伝えてください。」とおっしゃったそうです。これを悲惨な事件との認識に

同じく江口いとさんは「招かれなかったお誕生会」という詩で、「孫はあのねおばあちゃんA子ちゃんとても優しいの私の大事なお友達A子ちゃん悪くはないのよ。お母さんが悪いのよ。大人ってみんな我ままよ。寂しく言った孫の瞳に光る涙

決めて使わせるのも親の責任です。フィルタリングの機能を有効に活用し、無規則、無原則の携帯電話の使用を認めては、いけません。

この度は熊本市PTA研究大会に多数ご参加いただき誠にありがとうございました。右も左もわからぬまま委員長を仰せつかり、充分な運営・進行ができませんでした。事務局長をはじめ委員の皆様のご協力のもと無事終えることができました。

「早寝・早起き・朝ごはん」を学校教育の中で指導している所もあるが、これは全て家庭内の生活習慣のことであり家庭内で教えていくべきことである。

【あ】：甘い。甘やかす。嫌いが激しい人は、人の好き嫌いが多く、自己中心的な人が多い。肥満は甘やかすからくるもので、残すときに「こめんなさい」と言える子に育てるべきである。

【た】：他者と生き合っている感覚を食を通じて教える。学校では、稲や野菜を作ることを追う授業はあるが、残飯がどうなっているかを追う授業もやってもらいたい。

大阪教育大学付属池田小学校で児童八人の命を奪った惨劇は皆さんも記憶に残っていると思います。その被害者の親御さんが「八人の天使が教えてくれた、笑顔のすばらしさと命の尊さを未来に伝えてください。」とおっしゃったそうです。これを悲惨な事件との認識に

同じく江口いとさんは「招かれなかったお誕生会」という詩で、「孫はあのねおばあちゃんA子ちゃんとても優しいの私の大事なお友達A子ちゃん悪くはないのよ。お母さんが悪いのよ。大人ってみんな我ままよ。寂しく言った孫の瞳に光る涙

決めて使わせるのも親の責任です。フィルタリングの機能を有効に活用し、無規則、無原則の携帯電話の使用を認めては、いけません。

この度は熊本市PTA研究大会に多数ご参加いただき誠にありがとうございました。右も左もわからぬまま委員長を仰せつかり、充分な運営・進行ができませんでした。事務局長をはじめ委員の皆様のご協力のもと無事終えることができました。

地区別研修会



東部 B

「このとりのゆりかご」が
メッセージする命の尊さ
講演・パネルディスカッション

の「このとりのゆりかご」看護婦長の田尻由貴子氏に講演して頂いた。『赤ちゃんポスト』というものは、世界十五ヶ国にあるそうだ。捨て子を助長するなどと批判的な報道もあるものの本来の設置の目的は、「救える命を救

いたい」という思いである。講演の中で命の大切さを家庭でしっかり教育してほしいと訴えられた。後半はパネルディスカッションが行われ、年頃の子どもを持つ親として率直な意見交換が行われた。命の教育は、家庭ですべきであると、わが子の顔をみて改めてそう思った。

(託麻北小 東 三千子)

西部

食卓が豊かになる一方で、食生活の乱れや食の安全上の問題が生じており、健全で豊かな食生活を実践する能力を育む「食育」への取り組みが必要であるという思いから研修会を実施。



講師の飯田眞志子氏と桐原智津子氏

体的な方策についてお話しただいた後、熊本市教育委員会健康教育課の桐原講師より熊本市学校給食の目的は、「正しい食事

のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるようにすること及び給食活動を通じて豊かな心を育成することであると

(松尾西小 吉坂 純)

研修会一覽

地区	テーマ形式
東部 A	見つめ直そう！いのちとこころ 講演・分科会 2月9日
東部 B	「このとりのゆりかご」が メッセージする命の尊さ 講演・パネルディスカッション 7月8日
西部	「食育ってなあに？みんなで考え、みんなで行動、そして広げよう」「学校給食からみえる子どもたちの食生活について」 二講演 10月13日
南部	「親の姿勢に子は、学ぶ」 「発達障害の子どもたちに周囲の大人ができること」 「勿体の大切さ」 三分科会 10月13日
北部 A	人間関係を円滑に ～人との関わりとコミュニケーション～ 講演・五分科会 12月15日
北部 B	あなたも裁判員 ～裁判員制度とは～ 講演・意見交換会 1月19日

南部

南部地区研修会は、分科会方式で開催。一分科会では、熊本県民テレビキャスター・本橋馨氏による「親の姿勢に子



▶ 第一分科会の本橋 馨氏

北部 A



講師の岡崎 光氏

北部 A 地区研修会では、光グループワーク研究所所長岡崎光氏をお迎えしました。

自身を怪男児といい、「言葉が心をつくり信念をつくり人生を創る」と提唱されています。会場からは、笑い声が聞こえ和んでいきました。第一分科会「PTA 役員の役割と係決めについて」では、毎年どこ

(松尾西小 吉坂 純)

北部 B

北部 B 地区の研修会は、来年から始まる「裁判員制度」で誰でも裁判

の学校でも繰り広げられる係り決めのバトル。円滑にスムーズに決める良い方法は、ないか本音で話し合えました。

(西里小 森山知美)

員となる可能性があることから、会員にも理解を深めてもらうことを目的とし、熊本市 PTA 協議会会長であり弁護士森徳和さんを講師に講話と意見交換を行い、三六名が参加しました。



講師の森 徳和氏

がありました。会場からも自分が裁判員に選任されたことを想定しての質問が出されるなど、有意義な研修会となりました。

(池田小 渡邊健一郎)

平成 19 年度

市ソフトバレーボール大会

託麻東小が優勝

成績

- 優勝・託麻東小学校
- 準優勝・桜木中学校
- 準々優勝・託麻西小学校
三和中学校

八月五日(日)に、熊本市総合体育館で第三七回熊本市 PTA ソフトバレーボール大会決勝トーナメントが開催されました。前日各ブロックから勝ち残った 17 チームが優勝までの戦いに臨みました。会場は、たくさんの応援を受け大変な盛り上がりを見せました。

トは 18 対 21 で桜木中の勝ち、第 3 セットはベストメンバー同士で試合を繰り広げ、21 対 18 で託麻東小が勝ち優勝を決めました。

託麻東小の監督の田中さんは「監督 3 年目でやっと決勝戦出場を果たせた上、優勝まで経験させてもらえて選手に感謝しています。ご協力いただいた方々ありがとうございました。」とのコメントを、さらにキャプテンの真鍋さんは「4 年間勝てなくて、今日トーナメントに出て優勝できてうれしいです。ありがとうございます。両日ともいい汗を流し、心も体も温かくなった大会でした。」



優勝した託麻東小チーム

(田迎南小 松本 泉)

は学ぶ」、二分科会では、くまもと発育クリニック院長・岡田稔久氏による「発達障害の子どもたちに周囲の大人ができること」、三分科会では、浄行寺住職・盛忍氏による「勿体の大切さ」と身近なテーマで二百五十三人の参加者があった。各会場、大きな拍手や笑いが響き、楽しく感動のある講演であった。研修後、講演内容のプリントを作成し配布された単 P もあり、有意義な研修会となった。



長嶺小 カツピー祭が終わって

長嶺小学校では、カツピー祭という、体育館で子どもたちの出し物と食バザーを中心としたお祭りがあります。

今年度は十一月十日に開催されました。元々小学校が新しいので、PTA地域住民、子どもたちの交流の場を作るという主旨で始まったようです。昨年まで学校とPTAの共同開催でしたが、今年からPTAの単独開催となりました。保護者の参加者は例年よりも少なくなりましたが、カレーなど八〇〇食を超える売り上げを記録しました。今回の祭の特徴は、親子で遊ぶという主旨で木工とか伝承遊びの竹笛作り、お手玉作りなどを追加したこと。お手玉は、地域のおばあちゃんたちが遊び方を教えてくださり、交流ができて、大変好評でした。木工では、地域の木材関係の方との交流ができた。



ただけでなく、保護者が子どもと一緒に製作することにより、子どもたちが保護者を頼もしく思い、とても楽しそうな笑顔が見られました。

ただ、今後については、運営方法など検討の必要性に迫られています。例えば、万が一、食中毒が発生した場合に、PTAのみで充分にリスク対応ができるのか、学校が関知しない状況でどこまでPTAで対応していくべきか、課題が残りました。(長嶺小 三角哲治)

池田小 大盛況だった 愛校セール!

池田小学校(児童数五七七人)は、熊本市北部に位置し、花や緑に囲まれ、子どもたちの元気が溢れる学校です。今回は、学校や地域とPTA活動が連携した取り組みの一つを紹介したいと思います。



池田小学校PTAでは、毎年、教育環境の整備向上を第一の目的として、併せて会員相互の親睦と地域との連携を深めるため、PTAの各委員会を始め、父親の会、地域の方々などの協力を得て、「愛校セール」を実施しています。「愛校セール」は、学校行事である校内音楽会を行った後に開催しており、今年度は、十一月十八日に学校の運動場をメイン会場として、手作りの焼きそばやカレー、豚汁等の食バザーと手作り品、不要品の物品バザーを行いました。当日は天候にも恵まれ、子どもたちはもちろん、保護者や地域の方々も参加し、大盛況でした。今後も、多くの方々に参加できる活動を行っていきたいと思います。なお、愛校セールの益金については、子どもたちに必要なものを購入し、学校へ寄贈する予定です。このように、池田小学校PTAでは、学校や地域との連携を図りながら、一人一役のもと全員が協力し活動を行っています。(池田小 渡邊健一郎)

川上小

AED(自動体外式除細動器)の購入について

川上小学校PTAでは、昨年九月中旬に愛護委員会・田中中国検委員長よりAED共同購入参加校募集の話があった時から購入を検討してきました。また、同時期に中学校での野球の試合中に強い打球が胸にあたり突然の心停止状態に陥ったものの、AEDによる速やかな処置により一命を取り留めたことをテレビ、新聞で知りました。

本校でも野球部を始めサッカー、バレー等、部活動が盛んに行われており、このことは年齢に関係なく、起こりうる事ではないだろうかと思いま

した。十一月の運営委員会で議題にあげて全員賛成で可決して頂きAED購入を決定し十二月の納入になりました。納入日にはPTA関係者を始め先生方にも参加して頂き使用方法の講習を業者の方から受講しました。操作は音声ガイダンスにより指示され電気ショックが必要かどうかもAEDが判断し、高度な専門知識を必要とせず安心して誰でも簡単に操作することが出来る装置でした。また小型・軽量で持ち運びも容易でした。最後に熊本市内のすべ

ての中学校には熊本市よりAEDが設置されているとの事ですが、子どもたちの安全を第一に考え、いつでもどこでも、誰にでも起こるかもしれない突然の心停止(心臓突然死)から命を救うためのAEDを、今後はすべての小学校にも設置して頂けるよう希望しております。

(川上小 森田欣哉)



祝

森会長教育委員就任

市PTA副会長 木村 照一

熊本市PTA協議会の森徳和会長は、平成十六年の就任以来今年度で四年目を迎えられ、今や熊本市PTAの大黒柱としてなくてはならない存在です。弁護士という堅いご職業に似合わずそのユーモラスなお話し、特にイソップ物語など、童話を教育になぞらえてのお話は、会員の中でも会長の人気の要因のひとつです。その森会長が平成十九年十月より熊本市の教育委員に就任されました。この役職は、教育委員会の中で助言や意見を述べるとても重要な役職で

す。教育基本法が改正され家庭教育がその条文に盛り込まれた中、私たちPTAの果たす役割は大きくなりました。その中で現役の熊本市PTA森会長が教育委員になられたことは、私たち会員全体として大きな責任と熊本市の教育への貢献度をさらに高めることとなるに違いありません。ここで、熊本市PTA会員全体として、森会長にエールを贈り、今後の更なる御活躍をお祈りしたいと思います。おめでとうございます。(東部中 会長)

編集後記

五年生になる娘が、金峰山少年自然の家での三校合同の集団宿泊訓練から帰ってきました。初めて出会う人たちとの交流は、期待と緊張感から始まったようですが、楽しい思い出と充実感を胸に帰ってきました。

私も同じように今回、市PTA会報の編集を終え、初めて出会う人たちと一緒に仕事ができただけでなく、充実感を感じています。編集委員の皆さん、執筆いただいた方々、市PTA事務局の方々の真摯さを感じ得たこと、編集

◆後期編集委員◆

- 吉田 佳樹・古町小
- 橋本 博・三和中
- 吉坂 純・松尾西小
- 榎木 寛丈・東町中
- 山本 美穂・若葉小
- 三角 哲治・長嶺小
- 東 三千子・託麻北小
- 松本 泉・田迎南小
- 森田 欣哉・川上小
- 森山 知美・西里小
- 渡邊健一郎・池田小
- 坂井里和子・城西小
- 喜津木由美子・古町小
- 上野 孝子・河内小
- 後藤 英雄・鮑田南小